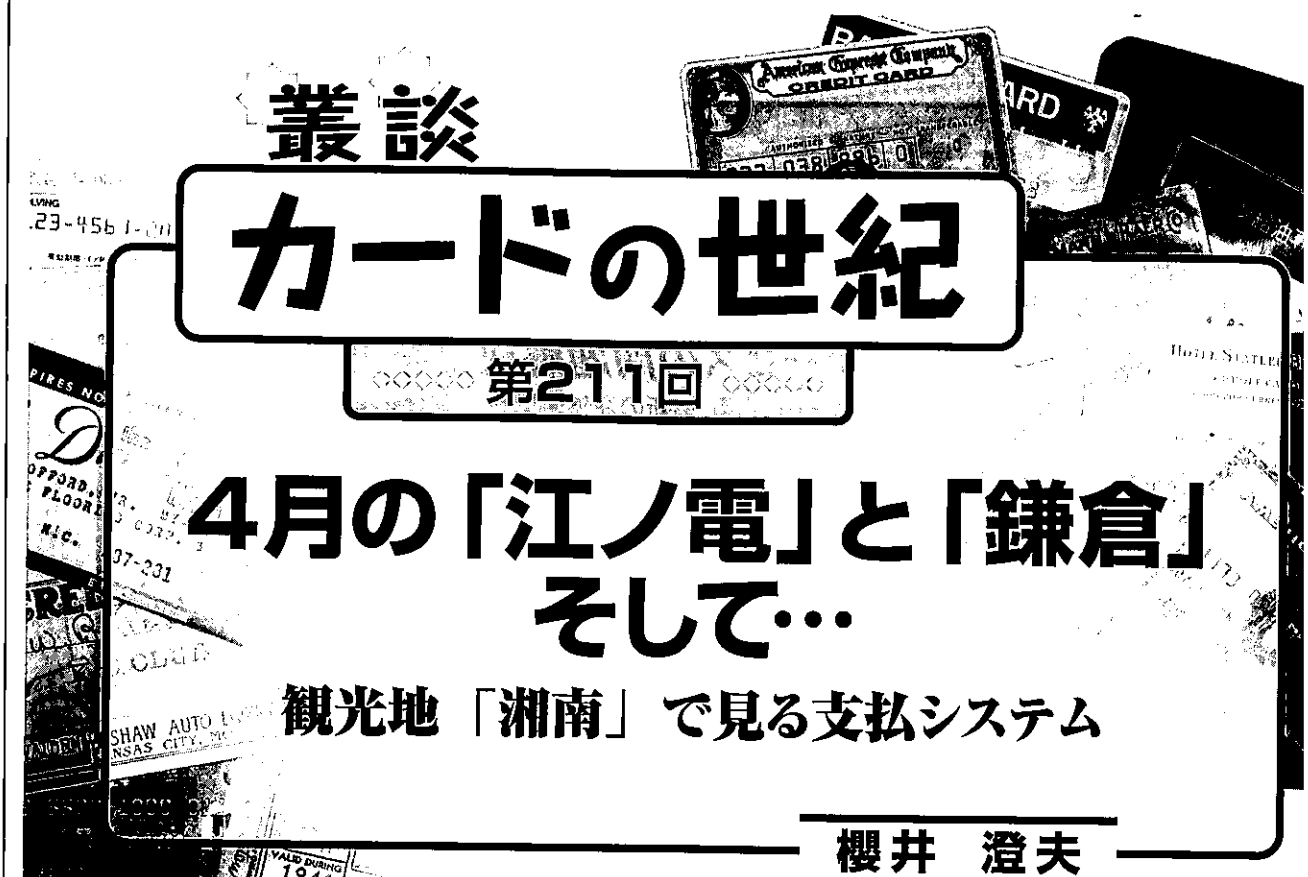




叢談

カードの世紀

第211回

4月の「江ノ電」と「鎌倉」そして…

観光地「湘南」で見る支払システム

櫻井 澄夫

「スラムダンク」って何だ？

アニメ映画の「THE FIRST SLAM DUNK」が4月20日、中国各地の劇場で公開された。そう、日本のテレビニュースなどでも、即日、実況中継入りで大きく取り扱われた。この映画は、現地では20日の午前0時から上映されたが、何日も前から並ぶ人もあり、4日間で100万人を動員するヒットとなり、売上げは中国での外国製アニメの新記録を作ったという。

ネット情報によると、地元の中国本土内の劇場だけでなく、香港、マカオ、韓国にまで行つてこの映画を見て来た人もいます。すでに20数回見た人もいます。台湾ではひと足早く1月から公開されていた。

こうしたものに前から関心があつた人はともかく、私を含めた多くの日本のおじさんたちには、テレビのニュースを見ても

一体何事が中国で起きたのか、何が何だかよく分からなかったに違いない。

「SLAM DUNK」(以下、スラムダンク)は湘南を舞台とした高校生のバスケットボールを主題にした井上雄彦氏の漫画で、1990年から96年にかけて「週刊少年ジャンプ」で連載され、この漫画の世界での累計発行部数は1億7000万部に達するという。93年にはテレビアニメにもなり、日本国内で放送された。

いま話題の映画版は日本では22年12月に公開された劇場アニメの新作だ。今年になって海外でも公開され始めたので、中国本土だけでなく、韓国、台湾、シンガポールへ、そしていまやそれ以外の諸国へも人気は広がっているという。

私はこのアニメをまだ見ていないが、一度、参考までに見に行こうと思っている。北京の知り合いの中国人のおいさんも

見に行つて、この映画をとて好きだと感想を述べたとか。

日本にいる上海出身の中国人に聞いたところ、この映画のヒットに対する中国人の感じ方は日本人とはかなり違うという。もちろん、国際的に支持される内容で、外国人も共感を持つような話なのだろうが、中国人は80年代、90年代のまだ中国が経済的にも厳しい時に青春時代を送った経験があるから、30代、40代の人たちに支持されるのだという。バスケットボールの映画を見て涙する人が多いのはやはりそれなりの理由、背景、あるいは国情が加わるのだから。

この上海出身の女性は映画通の30代の女性だが、新海誠監督のアニメの「すずめの戸締り」の方が面白いと言っていた。

4月の「湘南」を訪ねた理由

私は栄区という横浜市でも一

番南にある、鎌倉市に接した場所。3年前から住んでいる。最近、本誌で私が横浜の南部、鎌倉などについての記述が多いのはそのせいでもある。クレジットカードやペイメントシステムに関する記述が、何でも東京中心で、東京地方のことばかり紹介されるのに、いささかバランスを欠いていると感じるせいもある。

横浜はやはり東京とは異なる環境にある。横浜の南部に広がる湘南という相模湾に面した地域にはそれなりの特徴や個性がある。農家や漁港もある。観光地でもあるし、古くからの別荘地でもある。

閉鎖されたが、鎌倉市の大船には松竹の撮影所があり、たくさん映画がここで作られた。現在でも世界的に評価が高い小津安二郎監督の映画作品や、寅さん(渥美清出演)の映画などもここで撮影された。小津監督の作品では、鎌倉や湘南海岸の

情景がよく出てくるし、女優の原節子さんも、小津監督自身も晩年は鎌倉に住み、小津監督のお墓は北鎌倉の円覚寺にある。ここには田中絹代(分骨)、木下恵介などのお墓もある。

さて、3月の終わりころ、鎌倉駅から藤沢駅を結ぶ江ノ電(江ノ島電鉄)で4月15日から、いわゆるタッチ決済で乗車できるようになるとのニュースが流れた。私はこのニュースに接して、地元のことでもあるし、無視できず、ちょっと取材してこようと考えた。新方式はどんな具合か実際の様子を見ようというわけだ。

まず、4月10日の江ノ電の「4月15日から全駅でタッチ決済による乗車を開始いたします」と題するニュースリリースから見よう(一部略)。

「江ノ島電鉄は、タッチ決済対応のカード(クレジットカード、デビット、プリペイド)やスマートフォンなどによる鉄道乗車を

今春開始する旨2月に発表いたしました。2023年4月15日から江ノ島電鉄全線で開始することを、以下の通りお知らせします」とある。

決済ブランドはVisa、JCB、アメリカン・エクスプレス、ダイナースクラブ、デイスカバーで、銀聯、マスターカードについては「順次追加予定」とのこと。

関係各社は同日に共同でニュースリリースを出しており、概要の「各社役割」の欄には、JCBがキャッシュレス決済導入支援、JCB及びアメリカン・エクスプレス、ダイナースクラブ、デイスカバーの「タッチ決済に関するソリューション」を提供・認知プロモーションを担当している旨の説明があるから、最近増えているこれら各社の共同の加盟店契約推進・整備の環境としてJCBが「役割」を担っているであろう。このように今年の4月は「ほぼ」湘南人



である私にとって、話題が多く、無視はできない月になった。

タッチ決済の実体験と スラムダンクの聖地巡礼

なぜなら大ヒットしている「スラムダンク」の前に放映されたテレビアニメ版には前からのファンにとっては、外すことができない「聖地」が江ノ電の沿線にあるからだ。江ノ電の鎌倉高校前駅の近くの踏切付近がこのテレビアニメ版の冒頭に登場するのだが、ここが「聖地」になっていて、以前から国内外のファンが多数訪れていて、か



なりの騒ぎになっているのだ。

ここは江ノ電と国道が並行して走り、前面は相模湾で、開けた場所だ。

私は鎌倉の由比ガ浜から江ノ島方面に、たまに車を走らせるので、浜に面した場所何をしていてのかけげんに感じていた。

何でもアニメに登場する場所だということだが、あまり若い人向けのアニメに興味はないし、海岸通りの踏切など特別な場所とはいえない。しかし、江ノ電のタッチ決済の取材に行くのなら、話題のアニメ映画の「聖地」の取材と一緒にするの



売っていて、楽しい。江ノ電が交通機関としてだけでなく、電車を観光資源とし

が、都合がいい。そこで、私は家の近くのJRの大船駅から電車に乗り、鎌倉駅に到着した。二つ目の駅だ。JRの鎌倉駅から、江ノ電へ乗り換える(写真1)。乗り換え口あたりにはタッチ決済の案内表示があり(写真2)、それらしき専用改札機も設置されている。

大船から使ってきたSuica(以下、スイカ)も続けて使用できるが、江ノ電ではデビットカードを使ってみることにする。まず、問題はない。

駅の中の売り場では、鎌倉や江ノ電関係のお土産を何種類も

り、無関係に発生したことではないように思えてきた。

つまり、いまや国際化という時代の要請に直面し、真の国際化のための改善や進歩に具体的に向き合わなければいけなくなっているわけで、既存の外国や国内発行のペイメントカードの汎用化に背を向けることはもつと困難になるだろうし、排他的、独占的ではない機能の高度化、標準化、共通化は不可欠になるだろう。

一時期、マスコミにも頻繁に登場していたデビット・アトキンソン氏などは、主要な交通機関などでクレジットカードが

この駅で降りるのは初めてだが、この駅の改札機の様子も眺め(写真6)、目的の「踏切」に向かう。

踏切(写真7)は駅のすぐ東側で距離は200mもあるだろうか。平日の朝だからか、混雑

使えないのは後進国以下だと、日本の観光や交通機関の料金支払方法、わざわざスイカなどの日本国内でしか通用しない交通系ICカードを外国人にまで買わせる排他性を批判していたが、海外発行のクレジットカードなどが使用できるようになれば、いわゆるインバウンドの決着環境は今後大いに改善されていくだろう。

そのように見ていくと、すでに一部の専門家が指摘しているように、スイカやPASMOとこうしたタッチ決済との競合、競争がすでに始まっているのかもしれないし、コード決済など

というほどではなく、踏切付近で写真を撮ったり、眺めたりしている人は50人もいたのだろうか。アジア系の外国人が多いようだ。結構、女性もいる。浜に出てくつろぐ人もいる。

「この聖地」は、鎌倉市のバイクのナンバープレートにデザインにもなった(写真8)。

江ノ電がタッチ決済の導入に踏み切った背景

さて、23年5月号の「月刊消費者信用」の、特集は「タッチ決済乗車システムが変える未来」で、南海電気鉄道と福岡市交通局のタッチ決済乗車システ

ムが詳しく紹介されていて大いに参考になった。

いま、こうした特集が組まれるのは当然だろうが、私は江ノ電がタッチ決済を開始したことと、スラムダンクなどの文化の影響で人の流れ、具体的には来日外国人の増加には大きな関連性があると感じる。来日外国人が増えたからこそ、外国人が乗車券を購入する際の手間や所要時間を削減する必要性が高まったはずだ。日本の漫画やアニメの「聖地」にまで訪れる外国人の姿を見ると、これらの要素が相互に絡み合い、これらの増加や発展には因果関係があ



▲スラムダンクの「聖地」がある鎌倉高校前駅の改札機。左の二基はタッチ決済用。右の二基は交通系ICカード用。(写真6)

も、ペイメントカード未発達の中国のような国だからこそ大きな発展の余地があったとの見方もできるかもしれないから、これと競争に敗れば、消えていく可能性があると考ええる。

いずれにせよ、いまは大きな変換期に差し掛かっているわけで、関係各社の本腰の入れ方や的確な判断が求められる難しい時期に入っているように思う。

経営難から 立ち直った江ノ電

江ノ電はわずか10^{キロ}の路線の鉄道だが、さまざまなことを考えさせてくれるし、首都圏で一種の火付け役にもなりそうな気がする。このサービスの導入を検討している鉄道事業者にとっては、ケーススタディーの場になるかもしれない。

私は江ノ電にはたぶん73年くらい前から乗っていて、江ノ島の海岸での写真が残っている。10代の終わりのころの学生時代に

は、時々、授業が終わると横須賀線や江ノ電に乗ってこの辺をデパートしたものだ。湘南の冬の海岸には人がおらず、静かなものだった。

当時の江ノ電はローカル線で質素な印象が強く、いまとなつては想像しにくい。この江ノ電も一時、廃線を検討したそうだが、廃線になっていたら、ここに書いたことは、どれも実施されなかっただろう。資料によると、この路線はいまや黒字経営だとか。

今回のタッチ決済の導入は、この鉄道の非現金化という問題や売上金額の多寡ということにとどまらず、日本での外国人旅行者の旅行環境の整備に大きな影響をもたらし、日本はカードが使いにくい国との、これまでの評判を変えていく契機にもなるだろう。インバウンド業務に関係する人は、こうした個人旅行者や旅行中の消費活動の動向に注意を払うべきで、日常的に

情報を収集してサービスを拡充すべきだろう。

外国人向けにサイトを整備しているあなたの会社では、こうした種類の広報や宣伝を行っているだろうか。

銚子電鉄に見る 鉄道会社の課題

先日、グループで千葉県の銚子市の犬吠埼に、銚子電鉄を使つて行ってきた。犬吠埼は本州の東の端、太平洋に突き出した岬の先端から見た海は絶景だ。しかし、たびたび報道もされているように、顧客が減つて経営は苦しいようだ。京王線の古い車両を塗り直して使っているという。資金がないのだろうか、車内も駅も何となくさびれている。

江ノ電のように台湾の鉄道と提携したり、特別乗車券を発売したりして努力はしているようだが、うまくいっていないようだ。観光地というものは洗練さ

れたセンスが必要だ。

なお、銚子電鉄ではスイカは使用できない。事情があるかもしれないが、交通系ICカードさえ使用できないことは、首都圏の観光地としての環境整備への考え方の一端を示しているように思う。

銚子は東京駅からは特急も出ている、そう遠くない。江ノ電の実情を眺めていて、何とかテコ入れができないものかと思う。

鎌倉・江ノ島方面の数時間の「見学」だったが、人出はまだ本格的な回復ではないかもしれないが、江ノ電を見るだけでも、訪日外国人とカード類の売上の増加は期待できそうだ。

タッチ決済は 本当にタッチ決済か？

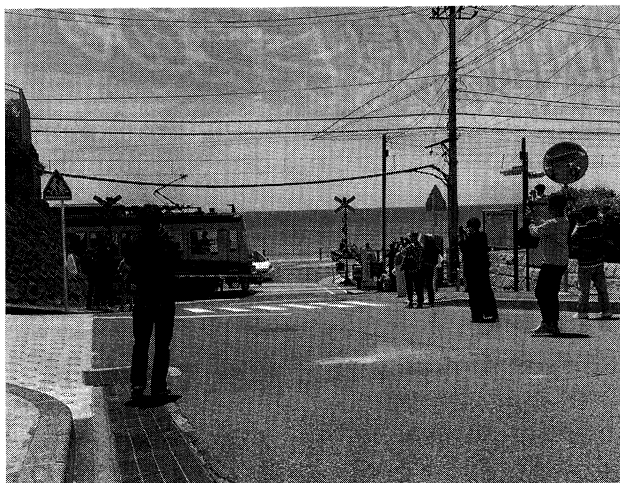
なお、本題とは直接には関係ないが、神奈川県湘南地方では、かつて「相模」ナンバーだった地域に、94年から「湘南」

ナンバーが使われるようになった。「湘南」人気がその理由である。歴史ある旧国名の「相模」から相模湾に面した地域のナンバーを「湘南」に変えたわけだ。ちなみに、鎌倉の車はいまも「横浜」ナンバーだ。

日本人はあまり意識していないが、これは日本人の「中国かぶれ」がその原因だ。「湘」とはもとと、中国の洞庭湖あたりの地名(国名)だが、景色が

似ているということで、日本でも「湘南」の地名をつけたという。

そうして「湘南」を使った車のナンバーが誕生したのだが、実は中国では省の名を一字で表す習慣があり、湖南省の車には現在も「湘」の文字が最初についている。時代を経て、日本と中国の車のナンバープレートに「湘」の文字が記されるようになったわけだ。



▲たくさん見物人が「聖地」に集まっている。(写真7)

スラムダンクに出てくる高校生たちが通う高校は湘北高校だが、いまでもなく「湘北」という名は「湘南」をもじつたもので、実在の高校名ではない。なお、最後になったが、「非接触」「コンタクトレス」というような言葉がこの業界では使

われているが、最近使用されてきている「タッチ決済」という言葉とは矛盾しないのか。

「タッチ」は接触だろう。あるサイトでは、「タッチ決済」とは「コンタクトレス決済」「非接触決済」の別の言い方だと説明している。このサイトでは、タッチ決済は専用端末にかざすだけで支払うことができると説明する。「かざす」と「タッチ」は同じ意味なのか。

また英語では「Tap」を使うことが多いような気がする。Tapは「軽くたたく」というような意味だが、Touch、Tap、接触、コンタクト、かざす：私にはこのような言葉が混在している現状を憂う。原因は主として英語の乱用にあると思う。何度言うが、責任ある企業は正しい日本語を使ってもらいたい。大きな辞書にもないような語義、語釈を勝手につける権利は企業にはない。できるのは固有名詞だけであって、普通



▲鎌倉市のバイク用ナンバープレート。踏切の向こうに見える「聖地」がデザイン化されている。(写真8)